

和太鼓通信【11月号】 2016.12.16 発行

今年もイベント目白押しの11月でした。特に1年生にとっては、どれもステージ慣れするための大事な機会だったのではないのでしょうか。楽しく、全力の演奏をできましたか？ 持ち帰ったそれぞれの思いを、また日々の稽古にぶつけて頑張ってください。

部内では、胃腸炎やらマイコプラズマ肺炎やらにかかってしまう部員がちらほら…な最近です。みんなマスクをして練習しています。なんだか具合悪いぞ？と思ったら無理せずに。各ご家庭でも体調管理についてはどうかご指導お願いいたします。

11月の活動の様子をお届けいたします。

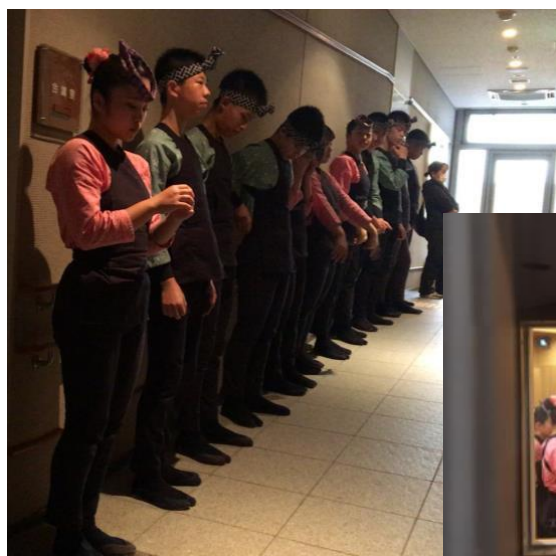
* 活動の記録 *

◆ 11月3日（木・祝） 『第52回芸術文化祭』



府中の森芸術劇場にて。

◆ 11月20日（日） 『高文連 郷土芸能部門 中央大会』



目黒区のめぐろパーシモンホールにて。

高等学校文化連盟 郷土芸能部門の中央大会に参加しました。都内の高校の和太鼓部の様々なパフォーマンスを見てきました。各校ごとに特色豊かな演奏が見られました。打撃團もいつもの力強い花嵐を披露。全国大会に進むことは叶いませんでしたが、金賞受賞という結果でした。

本番前の緊張の部員たち。



◆ 11月27日（日） 『第16回日本太鼓ジュニアコンクール 東京都大会』

大田区の日本工学院専門学校片柳アリーナにて。全国大会出場をかけたコンクールでした。全国大会への出場権が得られるのは2位までですが、打撃團の演奏は3位をいただくという結果になりました。渾身の演奏でしたが、部員、特に3年生にとっては悔しさが残る結果だったようです。



応援してくださったみなさん、どうもありがとうございました。今年度まだまだ演奏をお届けする機会は多く残っています。11月に感じたそれぞれの思いを無駄にしないよう、考えながら練習し、みんなの届けたいと思う演奏をお客さんに届けてほしいなあ、という思いです。

2016年もあと少し、がんばりましょう。どうか応援よろしくお願いいたします。